

国民不在の自民党政治に幕引きを!



立憲民主党公認

たかし

しのはら孝

(73歳)

9年弱続いた安倍菅政権の下、国民の政治への期待は変化してしまいました。モリカケ、さくら、アキタフーズに河井夫妻、学術会議に総務省接待。かつては、これら不祥事の一つであっても、大臣が辞任し、政権も吹っ飛んでいました。ところが今は適当な言い訳を繰り返すばかりで、誰も責任をとろうとしません。嘘ばかりが繰り返される現状に国民は憤らされ、判断基準が少しずつ後退し、いつの間にか責任をとらない政治の跳梁を許す風潮が作り上げられてしまいました。私たちは、まずこの大きな誤りに気づかなければなりません。

自民党は、岸田新総理を選出し、表紙を変えて刷新感を出さんとしましたが、結局はお馴染みの人事で変えるつもりはないことが露見しました。

政治は、一部の人間が利益を得るためではなく、国民の生活が少しでも豊かに、そして安心して暮らしていけるようにするためにあるのです。我々は今次衆議院選挙で、この国民不在の自民党政治にながなんでも幕引きを図り、繰り返される金権政治を打破しなければなりません。

しのはら孝の政策

1 「ほぼほぼ」に感染防止と「ほぼほぼ」の経済支援、政府の中途半端な対応がコロナを長引かせている原因に外なりません。水際対策の強化とともに、徹底的な「検査と隔離」による感染対策を強化します。またその間は支援策を拡充します。

2 平和こそ日本最大の宝です。子供達の未来を守るため、憲法改悪も含め、海外派兵を可能とする全ての法案に反対します。

3 自然エネルギーの活用を促進し、脱原発社会を目指します。また災害の原因となる地球温暖化を防止するため、化石燃料の使用を削減する取り組みを全力で応援してまいります。

4 コロナ禍でマスクが不足し、いざという時に買えないことの大変さに直面しました。工業製品以上に、ワクチンや治療薬などの医薬品や食料の不足は命の危機です。なんでもかんでも海外から買えばいいといふ今の風潮に反対し、国内で使う物は国内で作る政策と国内の研究開発を後押しします。

5 日本の未来は若者が創ります。ところが国立大学の授業料は年々値上げされ、家庭の経済状況により進学を諦めたり、学費を得るためのアルバイトで学校に行けないという本末転倒の状況になっていきます。大学の授業料を半額まで引き下げ、ひとり暮らしの学生への家賃補助制度を創設します。

6 地方が豊かであつてこそ日本は繁栄の道を歩み続けることができます。雇用の創出、農業・林業の振興等大ナタを振るって取り組むべき課題は山積しています。そこで生まれた人がそこでおだやかに暮らしていける社会の実現をめざします。

【プロフィール】

- 1948 中野市生まれ、長丘小、中野平中、長野高
- 1973 京都大学法学部卒、農林省入省
- 1978 ワシントン大学(法学修士)、カンサス州立大学農業経済学部留学
- 1991 OECD日本政府代表部参事官(パリ勤務)
- 1994 農林水産省水産庁企画課長
- 2000 農林水産政策研究所長・農学博士(京大)
- 2003 衆議院議員初当選
以来6期連続当選
- 2010 菅内閣 農林水産副大臣
民進党選対委員長、衆議院倫選特野党筆頭理事
等 歴任 衆議院6期

著書：TPPはいらない
原発廃止で世代責任を果たす
他多数

趣味：テニス・野球・山歩き
好きな食べ物：リンゴ・麺類